

入野小学校 校長室だより

2014. 7. 11(金) No. 14 文責：芝

台風8号で臨時休校に…

昨日は台風8号の影響で町内全小中学校が臨時休校になってしまいました。皆さんのお宅の被害はいかがでしたでしょうか。何もなければ良いかと案じています。

今週は月曜日から「台風が来そうだ」「このコースでは学校が臨休になるかも…」と職員室内でもずいぶん心配の声があがっていました。そんな中での子どもたちの受け取り方はどうだったのか、今回の「校長室だより」では、台風の話の時に子どもたちが見せた表情をレポートしようと思っていました。台風が来る前の子どもたちからは「台風が来る・大変だ」という様子は少なく、むしろ「休みになるの?…」が気にかかる様子でした。そんな表情が素直・正直な感じで可愛いくて楽しい反応に思えたのでお伝えしたかったのですが、控えることにします。

この台風では子ども(中学生)を含めて亡くなった方もいるなど、痛ましい被害が出てしまいました。被害の状況を考えると今回は楽しさを伝える話題としては書くことができません。ご了承ください。

ところで、台風よりも休みが気になる、それは無理もないことかもしれません。良い意味で考えれば、私たちは台風が直撃しても何とかかなると思えるくらいの経験と潜在的な準備がある地域に住んでいるということの現れです。人の知恵の蓄積の成果でしょうね。でも、逆の方向で考えると、台風が真上を通るといふ予報なのに、それでいいのだろうか、と心配な面もあります。子どもたちの未来を思うと、「想定外」についても考えていく必要があるのかもしれない。

スペインからのお客さん

大方中学校の島田校長先生から、「スペインの少年と交流しませんか。」というお電話をいただきました。参観日だった火曜日のことです。『え?スペイン?』想像が追いつかない話なのでビックリしました。なんでも校区出身の方がスペインにお住まいで、その方の関係で17歳の男の子が校区内にホームステイしているとのことでした。

それでは、と水曜日の外国語活動に合わせて交流することにしたら、その日のうちにステイ先の方といっしょに挨拶に来てくれました。先ほど「17歳の男の子」と書きましたが、会ってみると身長が190cmくらいあるのではと思われる長身の青年でした。

エスティバン君という名前で、英語も話せます。山沖教頭先生(実は英語の先生)と話している様子を見ると、まさに好青年と呼ぶにふさわしい感じです。

9日(水)、ALTのマスュー先生の通訳で3つの学年の子どもたちと交流してもらいましたが、学年によっては話したくて話したくて、アピールでワイワイ状況になったそうです。子どもたちの好奇心はすごいですね。

スペインの夏休みは2ヶ月半もあるそうで、エスティバン君は9月頃まで日本にいるそうです。何かの機会に見かけるときがあると希望します。日本語も少し話せますので、会ったら、ぜひお話ししてください。

